

平成25年度 事業計画

I 事業活動方針

宮崎県では、平成22年の口蹄疫、平成23年の鳥インフルエンザ、新燃岳噴火と立て続けに災害に見舞われ、さらに東日本大震災の影響で観光産業も厳しい状況が続きましたが、様々な復興の取組により、徐々にではあるものの回復の兆しが見え始めています。

また、九州新幹線の全線開通効果については、新幹線駅からレンタカーを使ったり、新八代駅と宮崎駅を結んだ高速バス「B&Sみやざき」の利用などによる入り込みも増えてきております。

さらに、昨年10月には、5年に1度開催される和牛のオリンピック「全国和牛能力共進会」で、宮崎牛が見事連続日本一に輝きましたが、観光にとって「食」は重要な要素であり、「みやざき地頭鶏」、「焼酎」、「完熟マンゴー」などとともに「日本一の宮崎牛」も本県観光に大いに寄与してくれるものと期待しております。

このような本県観光を取り巻く環境の中、官民一体となって、本県ならではの魅力や強みをさらに磨き上げ、県民一人ひとりが力を出し合っ、本県観光の復興への動きを高めて行く必要があります。このため、平成25年度は県、市町村、関係機関等と更に連携を深め、各種メディアを積極的に活用して、効果的な観光PRに努めてまいります。

国内からの観光客誘致については、記紀編さん1300年記念事業としてのキャンペーンの実施や宮崎恋旅プロジェクトの推進に加え、東九州自動車道の整備を踏まえた北部九州、大分県、四国に向けてのPRなどに力を入れます。

国外からの観光客誘致については、国際定期便のある韓国、台湾に加え中国、香港を重点地域として誘致活動を進めますが、その他東アジアの国々についても積極的にPRを行っていきます。

コンベンションの推進については、国際会議や全国規模の各種大会、企業ミーティング及びインセンティブツアーの誘致を図るため、魅力的なプログラムを提案して、各関係機関とも連携しながら、効率的かつ効果的な誘致対策を講じます。

スポーツランドの推進については、激化する地域間の誘致競争に勝ち抜くため、受け入れ市町村との連携強化に取り組むとともに、スポーツ施設や宿泊施設、自然環境などを相互に組み合わせることで、スポーツキャンプの「全県化」「多種目化」「通年化」を目指し、さらなるプロ及びアマチュアのチームの誘致促進を図ります。

また、サーフィンをはじめとする様々なマリンスポーツの推進や、大会・イベントによる観光客誘致に取り組めます。

当協会は公益法人として、「観光等の振興を図り、地域経済の活性化、文化の向上及び国際交流の促進に寄与する」ことを設立の目的に掲げており、「公益法人」であることを認識し、目的達成のために尽力します。

II 事業別取組

1 公益目的事業1

(1) 観光の推進について

① 国内対策

ア) 平成25年度からスタートする「神話のふるさと みやざきキャンペーン」については、これまでのキャンペーン実績を踏まえ、キャリア・エージェントと連携しながら、神話やスピリチュアル、豊かな食材等宮崎ならではの観光資源を活かした誘客活動を展開していきます。

また、古事記編さん1300事業に引き続き、平成32年度までを記紀編さん1300年記念事業として、新たな取り組みを展開して行きます。

イ) 口蹄疫等の災害で打撃を受けた観光関連産業の復興を支援するため、航空会社等とタイアップした誘客キャンペーンを実施します。

特に、本県での体験プログラム等を組み込んだロングステイの旅行商品を造成する旅行会社への支援や「100万泊県民運動」の推進に資する旅行商品の造成支援に取り組みます。

ウ) 宮崎の神話にまつわる縁結びスポットを巡る「宮崎恋旅プロジェクト」は、県内外のメディア等でも数多く取り上げられるようになりました。

特に、平成23、24年度と2年連続で宮崎で開催される「東京ガールズコレクション」は、20代の女性を中心に大きな反響があり、県内外に向けて宮崎をアピールすることができました。

平成25年度も引き続き、記紀編さん1300年事業とも連動して恋旅ブームの定着を図ります。

エ) 九州新幹線の活用については、新幹線駅からのレンタカー利用や、便利になった高速バス「B&Sみやざき」による入り込みも徐々に増えつつあり、今後他の交通機関との連携等による新たな周遊ルートの開発による誘客を促進して行きます。

オ) 整備が進む東九州自動車道については、平成25年度内に延岡・宮崎間が開通し、高千穂経由の県外客の入り込みが見込まれます。さらに、平成28年度中には北九州・宮崎間が全線開通する予定であり、大分県や北部九州さらには四国からの人の流れも活発になると見込まれ、これに対応した観光キャンペーンの実施や、マスコミ・エージェントに対する情報発信などの観光誘致施策を積極的に進めていきます。

カ) テレビ、新聞、旅行雑誌、タウン誌等のメディア及びインターネットを駆使して、観光PRを展開するとともに、県外事務所と連携して都市圏での観光PRを推進します。

キ) 教育旅行については、市町村、民間団体との連携のもと、本県の地域資源を活かしながら、学校教育で求められている自然・環境・文化などの体験要素に対応した体験メニューを充実させ、また、実際に体験していただくことが本県の受入体制の理解につながることからタイムリーなキーパーソン招聘を実施し

ます。

さらに、小学校の誘致では隣県との連携を行うなど、学校の種類によっても効果的な誘致活動を行うよう努めます。

② 国外対策

ア) 韓国対策： 平成24年度は、竹島をめぐる領土問題で韓国から日本への観光客の減少が懸念されましたが、幸いにも本県への韓国人観光客はゴルフ客の安定した入り込みにより例年並みに推移しています。

また、平成25年2月には韓国で人気のある「済州オルレ」の日本版「九州オルレ」において「高千穂コース」が正式に選定されたことで、誘致活動にも弾みがつくものと期待しています。

平成25年度は、定期便を活用しゴルフ、トレッキングに加え、オルレ、マリンスポーツ、フィッシングなど新たな観光メニューを充実させ、年間を通した観光客の安定的な確保を図ります。

(注)「オルレ」とは、韓国済州島の言葉で「通りから家の門に通じる狭い路地」という意味。現在では済州島の魅力を再発見するために提案しているウォーキングコースの名称として韓国内で広く知られ、人気を集めている。

イ) 台湾対策： 現在週2便の中華航空宮崎—台北線に加え、平成24年3月に週3便で就航した中華航空鹿児島—台北線が11月にさらに週4便に増便となり南九州週6便体制となったことで相互利用の利便性が向上したことを受け、引き続き鹿児島県と連携した広域周遊コースを旅行会社等にセールスしていきます。

また、ゴルフツアーやインセンティブツアー、教育旅行につながるキーパーソンの招聘や台湾における宮崎県の認知度アップのための観光PR等を実施します。

ウ) 東アジア対策： 中国対策では、尖閣列島をめぐる領土問題のため、日本へ(中国他)の観光客の動きが止まった状態となっていますが、一部地域においては、日本へのツアーを再開する動きも出てきており、引き続き情勢を見ながら誘致活動を行っていきます。

また、大型クルーズ船につきましても本県への寄港に積極的に取り組んでいきます。

その他の東アジアの国々についても積極的なPRに努めていきます。

エ) 香港対策： 韓国、台湾に次いで観光客の多い地域であり、台湾の定期便と接続した商品造成を図るために、引き続き旅行会社に対しての情報発信、セールス活動を行います。

また、チャーター便補助制度を活用して、本県へのチャーター便の実現を目指します。

さらに、平成25年度から設置される、宮崎県香港事務所と連携し、観光・物産展の開催や、誘致セールスを行い誘客増を図り

ます。

③ その他

協会のホームページ「旬ナビ」については、関係市町村協会等の協力を得ながら旬な情報を収集するとともに、四季折々の観光情報の特集ページを設けるなど閲覧者の利便性にも配慮しながら、更なる観光情報発信の強化を図ります。

(2) コンベンションの推進について

① コンベンション等誘致

- ア) 東京、大阪、福岡などの大都市圏では、学会及び各種団体の本部事務局、大企業等に対し、宮崎県事務所等と連携しながら誘致セールスを行います。
- イ) 県内にある各種団体・学会の支部事務局に対して、コンベンション情報を提供し、全国大会等の宮崎開催を働きかけていきます。
- ウ) 景気悪化で全国のコンベンション開催が縮小している中、国内で毎年安定的に開催されている学術会議を対象として、平成24年度に引き続き「学術会議等誘致懇談会」を東京・福岡で開催するとともに、宮崎開催の主管事務局となる宮崎支部においても、学会の情報交換、助言及び支援を積極的に行うなど、宮崎のコンベンション支援体制の連携を図ります。
- エ) 海外については、韓国、台湾、中国などを中心として、九州地区のコンベンションビューローやJNTO、海外駐在員等と緊密に連携し、誘致セールスを実施していきます。

特に、定期航空路線が就航している韓国及び台湾については、交通の利便性を活かし、関係機関や大学等と連携しながら、インセンティブツアーや学術会議の誘致を図るため積極的にセールスを行います。

② コンベンション等の開催支援

- ア) 本県に多大な経済効果をもたらすコンベンション、イベント及びインセンティブツアーに対しては、開催支援補助金の効果的な運用のほか、主催者への情報提供やアドバイス、連絡調整、空港での出迎え、歓迎看板・郷土芸能・交通アクセスの支援など、おもてなし日本一にふさわしい、きめ細かな支援サービスを実施していきます。
- イ) 国際会議及び海外からのインセンティブツアーの受入においては、交通及びホテル等関係機関と連携し、開催支援体制の整備を図るなど、魅力ある国際コンベンションシティを目指します。

(3) スポーツランドみやぎの推進について

① スポーツイベント等開催促進

県内外から多くの参加者が見込まれる各種スポーツ大会、ダンロップフェニックストーナメントなど県内で開催されるゴルフ公式戦、プロ野球の秋季教育リーグ「みやぎフェニックス・リーグ」、東アジアリトルシニア野球大会等の開催

を支援します。

② スポーツランドみやざき誘致促進

- ア) 実業団・大学等の競技団体、合宿取扱エージェントを個別訪問するなど、的を絞ったきめ細かなPR・セールスを実施し、合宿実績あるチームの定着並びに新規チームの誘致を図ります。また、キーパーソンの招聘を行い、新たなスポーツ大会やキャンプ・合宿等の誘致に取り組みます。
- イ) キャンプ中のチームに対する県産品の贈呈や、プロスポーツを受け入れている市町等が行う歓迎や観客サービスを支援するなど、より一層のキャンプ盛り上げ対策の強化を図ります。
- ウ) プロスポーツキャンプ等への県外観光客誘致を促進するため、ポスターやガイドマップ作成・配布など、県外向け広報を展開します。
また、ソーシャルメディア等を活用した誘客キャンペーンをキャンプシーズンにも実施して誘客を図ります。
- エ) 新規合宿獲得のため創設した合宿支援制度を活用して、キャンプ・合宿の通年化・多種目化を図ります。
- オ) 経済効果・PR効果が期待できる大規模スポーツイベントの開催やキャンプの誘致・支援を行い誘客を図ります。

③ 波旅プロジェクト推進事業

平成23年度にスタートした「波旅宮崎」を推進するため、様々なマリンスポーツが楽しめる宮崎のPRに加え、マリンスポーツ体験の受入体制の整備支援事業及びホームページ等での情報発信の強化を図ります。

④ 宮崎球援プロジェクト事業

日本プロ野球選手会と連携して、野球をテーマとしたPR事業・イベント等を実施して誘客を図ります。

(4) その他

平成23年度より東京ガールズコレクションと宮崎恋旅のコラボレーションで作成し、販売したチャリティストラップの売上代金を東日本大震災の義援金として日本赤十字社に寄附します。

2 公益目的事業2

観光みやざき振興基金事業について

本県観光振興に資する取組を支援し、観光みやざきのより一層の推進を図ります。

広域的地域から構成される市町村及び民間事業者等が行う広域的な観光振興の事業や、スポーツをはじめとする各種大会やイベントの受入組織等が行う、実現すれば県内に大きな経済効果や観光振興の効果が見込まれるもので、前もって開催が予測しがたい事業などの実施に対し、支援します。

II 事業項目

1 公益目的事業 1

(1) 「神話のふるさと みやざき」誘客促進事業『国内対策事業』[観光推進局]
38,690千円

- ①神話のふるさと みやざきキャンペーン事業
- ②キャリア・エージェント対策事業
- ③情報発信・知名度向上対策事業

(2) 「神話のふるさと みやざき」誘客促進事業『国外対策事業』[観光推進局]
27,595千円

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ①韓国対策事業 ②台湾対策事業 ③東アジア
対策事業 ④香港対策事業 | <ul style="list-style-type: none"> ◇旅行商品企画造成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・セールスプロモーション（商談会含む） ・エージェント招聘事業 ・エージェント等広告支援事業 ◇知名度向上対策 <ul style="list-style-type: none"> ・新聞・雑誌・テレビ関係者招聘事業 ・マスメディア活用PR事業 ◇ウェルカム宮崎キャンペーン <ul style="list-style-type: none"> ・定期便活用送客支援 ・チャーター便運行支援 ・ゴルフ大会支援 |
|---|--|

(3) 宮崎恋旅プロジェクト推進事業 [観光推進局]
10,316千円

- ①宮崎恋旅PR事業
- ②宮崎恋旅プロジェクト事業

(4) 口蹄疫復興財団みやざき観光再生事業 [観光推進局、コンベンション・スポーツランド推進局]
80,000千円

- | | |
|------------------|----------|
| ①教育旅行推進事業 | 5,000千円 |
| ②記紀編さん1300年事業 | 26,000千円 |
| ③海外誘客対策事業 | 10,000千円 |
| ④コンベンション等支援事業 | 19,000千円 |
| ⑤スポーツランドみやざき推進事業 | 10,000千円 |
| ⑥「食」の観光推進事業 | 10,000千円 |

(5) コンベンション誘致推進事業 [コンベンション・スポーツ・ツラント推進局]

9, 318千円

- ①コンベンション主催事務局及び地元関係団体、企業への個別訪問セールス
- ②海外企業インセンティブの誘致（主催企業その他旅行業者）
- ③コンベンション誘致推進説明会の開催（学術、各種団体）
 - ・学術会議等誘致推進懇談会（東京、福岡）
 - ・他県コンベンション推進団体との合同説明会
- ④国内外のコンベンションキーパーソンの招聘
- ⑤コンベンション商談会への参加
 - ・国際ミーティング・エキスポ：東京
 - ・CIBTM見本市：北京
 - ・ソウルインセンティブマート：ソウルその他、国内外で開催されるコンベンション見本市・商談会
- ⑥コンベンション関係団体等との情報交換

(6) コンベンション開催支援事業 [コンベンション・スポーツ・ツラント推進局]

54, 562千円

- ①コンベンション開催支援補助金の交付
- ②歓迎看板、郷土芸能、交通アクセス等の支援
- ③観光パンフレット、飲食店マップ等の提供
- ④コンベンション関連施設・業者の紹介及び情報提供
- ⑤コンベンション開催やアフターコンベンションに関する相談、アドバイス
- ⑥その他、コンベンション主催者のニーズに応じた各種サービスの提供

(7) コンベンション関連広報・宣伝事業 [コンベンション・スポーツ・ツラント推進局]

3, 068千円

- ①インターネットによるコンベンション情報の発信
- ②各種PRパンフレット等の作成
- ③新聞・雑誌等によるPR
- ④CD-ROM等によるPR

(8) コンベンション関連調査・企画・開発事業 [コンベンション・スポーツ・ツラント推進局]

436千円

- ①コンベンション開催情報の収集
- ②コンベンション団体会議及び研修会への参加

(9) スポーツランドみやざき推進事業 [コンベンション・スポーツランド推進局]

36,870千円

- ①スポーツイベント開催育成支援補助金の交付、ゴルフ公式戦支援等
- ②プロ野球 秋季教育リーグ開催支援
- ③スポーツ団体、エージェント等への誘致セールス、キーパーソン招聘
- ④プロキャンプ、アマチュアチームキャンプの支援
- ⑤プロスポーツキャンプ観客増への取り組み
- ⑥全国大会・西日本大会等の各種スポーツ大会の誘致
- ⑦波旅プロジェクトの推進

2 公益目的事業2 (観光みやざき振興基金事業)

21,528千円

- ①広域連携事業
- ②スポーツイベント等開催支援事業